

自然エネルギー信州ネット 第3回連絡会（松本地域） 会議録

開催日：平成25年1月12日

連絡会：13:30～14:30

意見交換会：14:30～17:20

会場：塩尻市総合文化センター 2階 大会議室

全体進行：平島安人氏（エネットまつもと代表）

ファシリテーター：黒崎晋司氏（特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所）

サポート：田原敬一郎氏（財団法人未来工学研究所）

1. 目的

信州ネットの連携関係を密にするための情報交換会

2. 開会

3. あいさつ（茅野会長）

4. 連絡会

1) 松本地域での今年度の活動と報告（平島代表）

- ・名称は「自然エネルギーネットまつもと」で、略称は「エネットまつもと」。
- ・昨年2/15に発足。
- ・会員は北は麻績村、南は木祖村まで南北60～70kmぐらいの範囲に及ぶ。
- ・おととい(1/10)ホームページを更新した。
- ・設立の趣意としては、原発の代替としての自然エネルギーではなく、エネルギーそのものを使いすぎているのではないか、という問題意識から始まっている。
- ・会費は2000円で運営委員は現在17名、毎月運営委員会を第2木曜日の夜に行っている。
- ・オブザーバーとして市町村と地方事務所が参加しているもののまだ連携は取れておらず、今後の課題の1つ。
- ・プロジェクトチーム(PJ)は、市民フォーラム、市民講座、パンフレット・ホームページの3つで元気作り支援金を活用して活動している。
- ・ワーキンググループ(WG)は、木質バイオマス、太陽光、賦存量、地中熱の4つが活動中。

[市民フォーラムPJ]

昨年10/16にプレフォーラムとして安曇野環境フェアで「シェーナウの想い」を上映。

2/3の市民フォーラムでは非電化工房の藤村靖之氏の講演と、その後、松本地域の若手との座談会を塩尻で予定している。無料だが席の関係でホームページからの事前申し込みが必要。

[市民講座 PJ]

自然エネルギーについて知りたいという地域の方とすでに活動している方をつなぐ場として、月1回の内部学習会を実施中。さらに広く市民の参加を呼びかけた市民講座を12月より開始。2月まで全3回が企画されている。2月の講師である会員の田口氏は砂防ダムの問題点を長く提起しており、これについては今後議論を深める必要があると感じている。

[パンフレット・ホームページ PJ]

パンフレット、「action」が近日出来上がる予定。ホームページは先般リニューアルした。設立趣意書、会員登録などのほか、自由に設定できるブログで各PJ、WGの活動を報告できるようにしている。

[太陽光 WG]

信州ネットの地域コーディネータWGに参加している山本さんがはじめた。日産リーフと太陽光発電の組み合わせの検討などを実施中。

[賦存量 WG]

地域の自然エネルギーの賦存量を調査中。

[木質バイオマス WG]

旧四賀村のまつたけ山でのモキ社製の炭化器を使った炭焼き、炭撒きイベントなどに参加。

[地中熱利用]

地域コーディネーターの中島さんが開始。地中熱利用のための穴の掘削も開始している。

2) 専門部会からのお知らせ

[バイオマス部会（田中部会長）]

環境省で作成したパンフレット『木質バイオマスストーブ環境ガイドブック』を配布。薪・ペレットストーブを使用する際のガイドとなっている。事務局に連絡していただければ送付する。現在薪ステーションをつくる方を募集中。

[太陽光部会（中村氏）]

活発に動いている。毎月視察（新興マタイ、かんてんぱば、メガソーラー等）と部会を実施。今月28日に地域コーディネーターワーキングとの共催で講演会を実施予定。公共施設の屋根貸しや系統連携について学ぶ。

[グリーン熱部会（中村部会長）]

今年度はあまり活動していない。温泉熱、富士見町の太陽光集熱施設、地中熱などを扱ってる。

[小水力（月岡副部会長）]

長野は小水力について全国3～4位のポテンシャルを持っている。これをどうやって発電に結びつけるのかを勉強中。大岡村の発電所の見学などを実施。昨年10/26には木曾地域の小水力発電についてのシンポジウムを実施した。今月17日には木島平村の公民館で勉強を実施予定。また、2/16-17で全国小水力サミットが中津川市で行われる予定。

[マネジメント（久保田部会長）]

上映会とディスカッションという形の「エネルギーカフェ」を11/11に茅野市、12/8に須坂市で実施。毎回30名程度の参加者。別途報告する「信州みんなで育てるエネルギー基金」を検討中。

[政策調査部会（平島部会長）]

規制に関するアンケートを実施し、県へインプット。現在県と経産省で協議中。規制緩和について話し合っているが、その前段階として自分たちのビジョンを明らかにする必要があり、月1回の会議を実施し、既存のビジョンなども調査している。

3) 事務局からのお知らせ（小田切）

[信州みんなで育てるエネルギー基金]

- ・平成24年度の地球環境基金の助成を活用。
- ・インターネットで寄付を集める仕組みづくりを検討中。
- ・自然エネルギーについて感心があるが積極的に参加できない、何をしたらいいかわからない、といった市民と、貢献をしたいと考えている地域の企業、団体、また事業検討中の方をつなぐ。
- ・現在ウェブサイト構築中で6割程度完成した。
- ・「Shopping」のページでは売り上げの一部を普及に役立てる形で、グリーン電力証書や信州産の木工品などの販売を検討している。特にグリーン電力証書は、裾野の広い市民の参加ツールとして有効と考えているが、まだ認知度が低いいため、小口で気軽に買える形としてデザイン性の高いものを検討しており、ウエディングボードや地域の間伐材を利用したフォトフレームなどとの組み合わせも考えている。
- ・「Donation」のページでは、各プロジェクトごとに1口1000円から寄付することができ、事業をみんなで応援ができる形を考えている。
- ・信州ネットとして応援したい事業を選んで掲載していきたい。
- ・2月中旬にサイトを完成させ、モニターを開始する。
- ・現在は試行段階であるが、本格運用となると人員が不足する。

4) 県からの情報提供（長野県温暖化対策課中島課長）

[環境エネルギー戦略全般]

- ・再生可能エネルギーの部分を拡大した。
- ・情報共有、人材育成の仕組みとして「地域環境エネルギーオフィス」の創出を促進する。
- ・1村1自然エネルギープロジェクトの登録を行うと同時に各種規制による事業リスクの低減のため、国に対して現場の支障事例や政策提案を集約し、国への政策提案等を行っていく。

[エネルギー種別の取り組み]

- ・太陽光→メガソーラー事業の促進。「おひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクト等」。
- ・小水力→手厚い支援を計画。水利権相談窓口の設置。「小水力発電キャラバン隊」による支援。
- ・バイオマス→熱電併給、薪ステーションの支援。塩尻50km圏は「Fパワープロジェクト」による集中型、他は地産地消型を促進する。

[諏訪の県有施設の屋根借りメガソーラー事業]

- ・岡谷酸素に事業者が決定。
- ・メガソーラー事業のノウハウを共有していく仕組みづくり。信州ネットも参加予定。
- ・地元参加の運営委員会の立ち上げ、利益の還元、国産太陽光パネルの稼働実績公開などを実施する。

[富士見高原メガソーラー事業]

- ・事業者がシャープに決定。
- ・信州ネットへの参画を打診中。

[1村1自然エネルギープロジェクト]

- ・来年度も事業立ち上げ補助の条件にしていく予定。
- ・各地の取り組みを積極的に登録してほしい。